

平成 24 年 10 月 30 日、北海道農業研究センター（札幌市豊平区羊ヶ丘）で、グリーンテクノバンク、北海道の雑草防除を考える会、農林水産省主催で第 4 回研究会「雑草防除セミナー」が開催されました。

本セミナーでは、専門分野の壁を超えて、有効な雑草防除対策である機械除草技術と生物・化学的防除技術について話題が提供され、様々な立場からの意見交換が行われました。

第 1 部「除草技術の高度化への期待と機械除草研究の最前線」では、農研機構生研センターの後藤隆志氏から湿潤土壌対策が重要なテーマとなっていた「中耕除草機の現状と開発方向」、また北海道大学農学研究院片岡崇教授から「畝自動追従の株間除草機械」が報告された。

第 2 部「生物的雑草防除技術の開発と除草剤実用化の変遷」では、道総研畜産試験場の佐藤尚親氏から牧草地に除草剤の散布ができない地域において有効な「イタリアンライグラスを用いた雑草防除法」、元道立農試の佐藤久泰氏からは、研究員、普及活動の経験をもとに「畑作除草剤実用化試験及び侵入雑草の変遷」が報告された。

最後にミニワークショップ「専門分野を超えて雑草防除を考える」では農機メーカーの除草機械開発の状況と普及の問題点が議論された。参加者は全国から 56 名であった。

